

第5回名古屋 YMCA チャリティーウォーク「杉原千畝・人道の道歩く」



2017年3月11日(土) 10:00~12:30 「3.11を決して忘れない」

名古屋グランパスクラブに在籍した奈良昭彦さん(元東京八王子クラブ・第4代東日本副区理事)が提唱し、全国で行われている「揚がれ!希望の凧」で東日本大震災被災者への想いを表す活動は名古屋 YMCA では第5回チャリティーウォークとして引き継がれ、今年は「杉原千畝・人道の道」を歩きました。参加費は名古屋 YMCA を通して東日本大震災と熊本地震の復興活動をしている YMCA を支援するため東北・熊本の YMCA に捧げました。

<参加者>

名古屋クラブ：河部薫君・川本龍資君・中村隆君・義井裕子君・渡辺真悟君

名古屋東海クラブ：浅野猛雄君・大島孝三郎君・柴田洋治郎君・柴田純子さん・橋爪良和君・長谷川和宏君・松本勝君・八木武志君・鷺尾文夫君・鷺尾美代子さん

名古屋グランパスクラブ：青木哲史君・荒川恭次君・早川政人君

名古屋南山クラブ：荒川文門君 津クラブ：薦田正男君

名古屋インターアクトクラブ：渡辺君・松長君・大島さん

ゲスト：夏目勝弘さん(岐阜県恵那高校・大阪外国語大学卒・日本アイランド協会理事)

※ゴールの瑞陵高校で新井校長と森先生(瑞陵インターアクトクラブ顧問)が出迎えて下さいました。

「杉原千畝人道の道」

第二次大戦中ユダヤ人難民に日本通過ビザを発行し数千人の人々を救った岐阜県出身の外交官である杉原千畝は幼少期を名古屋で過ごした。父親の仕事(税務署)で岐阜・三重・愛知の学校を転校した。卒業は名古屋の平和小学校(旧古渡尋常小学校)、県立五中(現在の瑞陵高校)から早稲田大学高等師範部英語予科に進んだ。

☆10時、地下鉄東別院駅。中村総主事、長谷川実行委員長の挨拶。インターアクトの高校生も参加。



まずは平和小学校へ千畝は全甲の成績で卒業した。校庭の「ちうねチャイム」は生誕100年を記念して



2000年11月に設置され、2つの曲線は「命の尊さ」「思いやりの心」を表し、柱を繋ぐリングは「平和」「愛」を表現している。卒業式には一人一人が鐘を鳴らすそうだ。この後前身の古渡尋常小学校があった場所(東海浅野会長の実家の向側)へ少し寄り道。

金山駅から大津通りを南下、沢上、高蔵（山下機械）を経て左折、五中を目指した。

JR・名鉄線の跨線橋を渡り、東へ向かう。中京倉庫の赤レンガ造りの建物、市体育館。雁道商店街を抜け、高蔵高校／中学（旧愛知県立女子大学）へ。隣が瑞穂ヶ丘中学（旧五中）、中へ入れないのが残念。



県立第五中学校（現瑞陵高校）の門柱は登録有形文化財に指定される見込みの13校のうちの一つ。オリーブの樹は2012年イスラエル公使が植樹。「感喜堂」前で校長と森先生に感謝。

